

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●川田将雅騎手がJRA年間100勝を達成

8月20日(土)の4回小倉3日・第4レースではスイートスカークが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、自身4年連続8回目となるJRA年間100勝を達成しました。

### ●丹内祐次騎手がJRA通算400勝を達成

8月21日(日)の2回札幌4日・第3レースではマイネルキングが1着となり、同馬に騎乗した丹内祐次騎手(美浦・フリー)は、現役44人目となるJRA通算400勝(9591戦目)を達成しました。

### ●ジョッキーベイビーズの東北・新潟地区と関西地区代表が決定

8月21日(日)、福島競馬場で「第12回ジョッキーベイビーズ」の東北・新潟地区代表決定戦が実施され、松浦太志さん(中学1年生・福島乗馬スポーツ少年団)が同地区代表に決定しました。同日、兵庫県三木市の三木ホースランドパークでは関西地区代表選考会が実施され、浜田成鳳さん(小学5年生・水口乗馬クラブ)が同地区代表に決定しました。決勝大会は10月9日(日)、東京競馬場で行われる予定です。

### ●フェアリーポルカの競走馬登録抹消

2020年福島牝馬S(GⅢ)などの勝ち馬フェアリーポルカ(牝6歳/栗東・西村真幸厩舎)は、8月3日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績22戦4勝・地方2戦0勝で、今後は北海道新冠町の新冠橋本牧場で繁殖馬となる予定です。

### ●元騎手・元調教師の伊藤雄二氏が逝去

8月17日(水)、伊藤雄二氏が老衰のため逝去しました(享年85歳)。伊藤氏は1959年に騎手としてデビューした後、1966年に調教師へと転身。調教師としてはダイイチルビー、ウイングチケット、エアグルーヴなどを管理し、全国リーディングを3回獲得。2007年の引退までにJRA通算7501戦1153勝の成績を残しました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●サマーチャンピオン(佐賀)でシャマルが2度目のJpnⅢ制覇

サマーチャンピオン(JpnⅢ、8月25日、佐賀、1400m)は、3番手から4コーナーで先頭に立った1番人気のシャマル(川須栄彦騎手、牡4歳、父スマートファルコン)が2馬身差で完勝。コウエイアンカ(兵庫)が逃げたサクセスエナジーをゴール前で捉えて2着に入り、2番人気のコンパスチョンは4着、3番人気のレディバグは5着、初ダートのラウダシオンは最下位の12着に敗れています。

### ●北海道のジョリダムがクローバー賞(札幌)に優勝

クローバー賞(2歳オープン、8月21日、札幌)に出走した8番人気の北海道所属馬ジョリダム(牝、父カレンブラックヒル)は、先手を取って1番人気のイコサンの追撃をハナ差凌ぎ、札幌2歳S(GⅢ、9月3日)の出走資格を獲得しました。なお、地方在籍馬のJRAでの勝利は、横津岳特別のシンボ(北海道)以来、約2年ぶりです。

### ●ダート変更の若鮎賞はフジラブンツェル【各地の主要2歳重賞】

雨による走路状態悪化のため、芝からダートに変更された若鮎賞(8月14日、盛岡、1600m)は、差のない4番手から3、4コーナー中間で先頭に立ったフジラブンツェル(牝、父メイショウボーラー)が10馬身差で圧勝、単勝1.3倍の支持に応えてデビュー以来の連勝を4に伸ばしています。

### ●イネイネイネイネがMRO金賞制覇【各地の主要3歳重賞】

MRO金賞(7月31日、金沢、1900m)は、3番手から2周目3コーナー過ぎに抜け出した単勝1.4倍で圧倒的人気の笠松からの遠征馬イネイネイネイネ(牡、父タイムパラドックス)が後続を5馬身引き離し、4戦連続重賞2着からの待望の重賞初制覇を果たしました。※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1インターナショナルS～バーイードが中距離でも完勝

現地8月17日にイギリスのヨーク競馬場で行われたG1インターナショナルS(3歳上、芝2050m)は、J.クローリー騎手を背に後方でレースを進めたバーイード(牡4歳、W.ハガス厩舎)が直線で鋭く伸びて6馬身半差で圧勝しました。2着に昨年このレースを6馬身差で制していたミシュリフ。父シーザスターズの父仔制覇となったバーイードはこれで昨年9月のムーランドロンシャン賞、10月のクイーンエリザベスⅡ世S、今年5月のロッキンジS、6月のクイーンアンS、7月のサセックスS(以上は全て芝1600m)に続くG1・6連勝で、昨年6月のデビューからは負けなしの10連勝。これまではマイル路線を歩んでいましたが、中距離でも圧倒的な強さを見せました。

### ●G1ヨークシャーオークス～アルピニスタがG1・5連勝

上記インターナショナルSの翌日(18日)に同じヨーク競馬場で争われたG1ヨークシャーオークス(3歳上牝、芝2370m)は、L.モリス騎手を鞍上に先行したアルピニスタ(牝5歳、父フランケル、M.プレスコット厩舎)が直線で抜け出すと、今年の英オークス馬チューズデーの追い上げを1馬身差しりぞけて優勝しました。アルピニスタはこれで昨年8月のベルリン大賞、9月のオイロパ賞、11月のパイエルン大賞、そして今年7月のサンクルー大賞(以上は全て芝2400m)に続くG1・5連勝です。